

季刊せいてん第131号 令和2年6月1日発行(3・6・9・12月 各1日発行)

2020 夏の号

季刊せいてん no.131

●浄土真宗聖典の学習誌●

特集

私の名著2



真宗〈悪人伝〉／善信房親鸞(五) 幸せてなんだろう／悪の偏見は、どのように生じるのか
『唯信鈔文意』／三心と一心 『蓮如上人御一代記聞書』／「御文」は阿弥陀如来の仰せ

NO.131

季刊

せいてん

2020.6.1(夏の号)

特集

私の名著2

- 「恩書」……………松尾宣昭 3
「私の1冊」……………深川宣暢 ほか 4・44

はじめの一步Ⅰ

真宗〈悪人〉伝(終)

- 善信房親鸞(五)……………井上見淳 9

はじめの一步Ⅱ

幸せってなんだろう—悪人正機の倫理学⑭

- 自死と善悪—悪の偏見は、どのように生じるのか……………藤丸智雄 16

聖典セミナー

- 『唯信鈔文意』⑩ 三心と一心……………安藤光慈 22

せいてん誌上講演

- 『蓮如上人御一代記聞書』②「御文」は阿弥陀如来の仰せ……………稻城選惠 30

ほとけのいる景色—アジャンター石窟寺院 ⑥

- 「日本人の見たアジャンター③」……………打本和音 40

せいてん茶道教室 ③

- 「茶道のおもてなし」……………清基秀紀 54

法語随想 ②

- 「弥陀成仏のこのかたは……」……………武田一真 56

読者のページ せいてん質問箱④

- 「釈尊派と阿弥陀仏派の対立はなかったの?」……………壬生泰紀 58

人ひとみな ニュートラルな考え②

- 「勝手に〈決めつけ〉てない?」……………朝倉行宣 63

念仏者はいま 龍谷大学名誉教授・中垣昌美さん

- なぜ、今、老いを問いなおすのか①…………… 64

西の空 心に響くことば

- 朝……………榎本栄一 67

文中写真／編集室

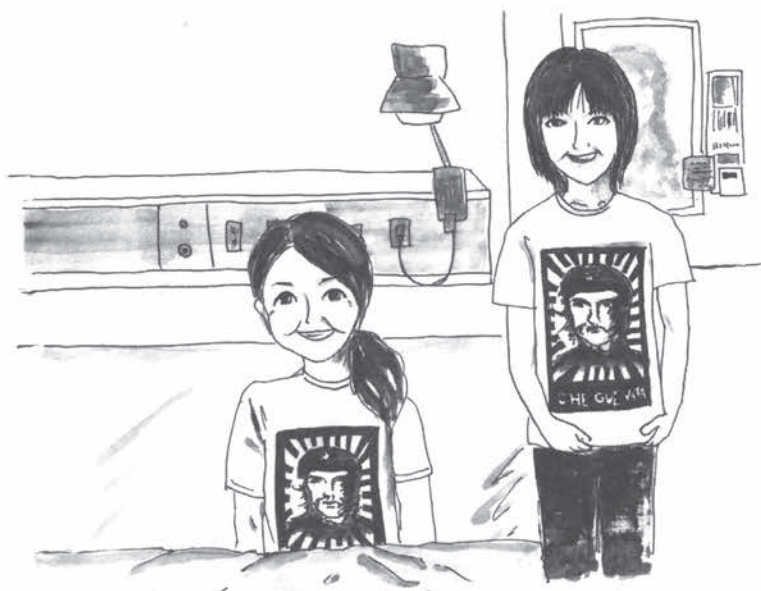
お読みになる前に…文中に(〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典(第二版)』、(七祖〇〇頁)とあるのは『註釈版聖典 七祖篇』のページ数を指しています。

幸せってなんだろう

—悪人正機の倫理学—

第14回 「自死と善悪—悪の偏見は、どのように生じるのか」

ふじまる とも お
総合研究所副所長 藤丸 智雄



「自死は悪なのか？」総合研究所で自死について研究したことがあります。その成果を報告してから、すでに十二年が経過しました。振り返ってみると、私自身が善悪について考えるきっかけになった仕事でした。その時お世話になった方々への感謝の意味も込めて、原点に戻ってみたいと思います。

(イラスト 瓜生智子)



『鈴木家の嘘』

『鈴木家の嘘』という映画を、まずは紹介します。

鈴木家の長男（加瀬亮^{かせりょう}）が、長年の引きこもりの後、自殺（以下、自死）します。

それを発見したお母さん（原日出子^{はらひでこ}）は気を失い、病院で意識を取り戻すのですが、長男が自死したことこの記憶が失われていて、つい長女（木竜麻生^{きりゆうまい}）が「お兄ちゃん、ひきこもりやめてアルゼンチンに行った」と口走ってしまいます。この優しい嘘がきっかけとなり、しつちやかめつちやかになりながら、ゆつくり時間をかけて家族一人ひとりが再生していくという映画です。

野尻克己^{のじりかつみ}さんとという方の初監督映画なのですが、監督ご自身が自死遺

族で、自らの経験を元に脚本が書かれています。そのせいでしょう、自死にまつわるリアルな出来事が数多く出てきて、自死について学べる映画ともなっています。

お骨を突き返す僧侶

この映画の前半で僧侶が登場します。葬儀後、寺がお骨をいったん預かるのですが、すぐに「うちで預かることができない」と小僧さんからお骨が突き返されてしまいます。家族は啞然としますが、困り顔の小僧さんから理由について説明されることはありません。家族は仕方なく、遺骨を持って帰ります。

これは、私にとって非常に印象的なシーンでした。「自死」については、こんな風に、根拠なく、何となく

く差別的な対応がなされることが多く、それが関係者にしんどい思いをさせてしまいます。

この原稿を書いている理由の一つが、この点にあります。まずは僧侶が自死問題に向き合う上で、何が根拠となるのか、自死は悪なのかを考えてみたいと思います。

自死は悪という偏見

今から十二年も前になりますが、僧侶対象の自死に関するアンケート調査を実施しました。ご協力いただいた皆さま方には、あらためてお礼を申しあげます。

調査の中でいろいろなことをお尋ねしましたが、「自死は仏教の教えに反している」という回答が75%近くに達しました（註）。



元々、この調査は、自死遺族の声がきっかけとなって実施されました。僧侶に遺族ケアを期待する声がある一方で、葬儀や法事の中で「命は大切です」と言われ、心を痛めている遺族の声が多かったのです。「命は大切」という言葉を聞くと、遺族は、「命を大切にしないという悪いことをしてしまったのだ」と感じ傷付くのです。

(註) 詳しくは『自死とわたしたち』(本願寺出版社)や、『浄土真宗総合研究』第五号「仏教教団と自死問題」をご覧ください。

ヴァッカリの自死は悪なのか

仏典の中には、自死に関する話がいくつも出てきます。自死の記録の多さは、他の宗教には見られない仏教の特徴と言えます。

特に有名なのは、ヴァッカリの話

です。釈尊しやくそんの元で修行に励んでいたヴァッカリですが、病気になる、激しい痛みを苦しみ、死を願うようになります。そんな中、どうしても死ぬ前にお釈迦さまに会いたいと切望します。その思いを聞いた釈尊はヴァッカリを見舞い、「しんどいか」と病状を尋ね、いつも通り教えを説いて帰られます。

その翌日、痛みには耐えられずヴァッカリは自死します。

ヴァッカリは悟れたのか

ヴァッカリの自死を聞いた仏弟子たちは、みな慌てふためきます。そして、釈尊に「ヴァッカリは、死後、どうなったのでしょうか」と質問します。それに対して釈尊は、ヴァッカリは生前まじめに修行してきたから、

ちゃんと悟りを開きましたよと答えになります。それを聞いて弟子たちは安堵します。

さて、皆さんは、この話をどのように解釈されますか？

先入観が影響する解釈

伝統的に、修行で高い境地に至っていたので、ヴァッカリは自死しても大丈夫だった(悟りを開けた)と理解されてきた経緯があります。つまり、ヴァッカリは特別な、例外的な存在だったというわけです。

しかし、お分かりのように、そうしたことが直接的には説かれていません。

虚心坦懐きよしんたんかいに読めば、ヴァッカリはまじめに修行してきた、その結果として悟りを開いた、「自死」という

季刊せいてん

バックナンバーのご案内 (在庫分)

100号を記念しての特別号



●表紙写真●燃灯仏授記図
(ベセクリク千仏洞)

101号の主な内容

☆ビジュアル大乗仏教～北伝仏教の旅～

インド・西域・中国・朝鮮半島・日本編 丘山 新

これまで表紙解説のコーナーでたどった仏教伝来の道を、新たに美しい写真とともに旅しました。インドから日本に伝わった仏教の大きな流れを知ることができます。

☆「入門講座」・「聖典セミナー」プラス

観世音・大勢至一七高僧にちなんで

「私にとっての仏教」その後

親鸞聖人へのアプローチ

その心すでにつねに浄土に居す

『観無量寿経』のこころ

『尊号真像銘文』のこころ

『一念多念文意』のこころ

黒田 覚忍

浅田 正博

山田 雅教

森田 真円

徳永 一道

白川 晴顕

内藤 知康

今まで「入門講座」「聖典セミナー」をご担当いただいた先生方に、現在の味わいをご執筆いただきました。



表紙
●特集「自死と念仏者」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑩(井上見淳)
「顕如と教如(中)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう④(藤丸智雄)
「嘘は悪なのか?」
- 聖典セミナー
「歎異抄」(終)(矢田了章)
「後序—たまはりたる信心」
- せいてん誌上演
「正信偈」⑩(梯實圓)
「善導大師③」仏様に認められて生きる」
- もう1人の親鸞④
「玉日姫と恵信尼さま」(黒田義道)

121号(冬の号) 2017年12月1日



表紙写真
●ボロブドール(18)(インドネシア)

- 入門講座
はじめて学ぶお釈迦さまのご生涯⑥
(内藤昭文)
お釈迦さまの晩年とその後
- 聖典セミナーI
一枚起請文③(高田文英)
浄土真宗の生命
- 聖典セミナーII
御俗姓②(佐々木隆晃)
親鸞聖人の御遺訓
- 聖典セミナーIII
仏説阿彌陀経⑤(満井秀城)
証誠段・流通分

100号(秋の号) 2012年9月1日



表紙
●特集「わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑪(井上見淳)「顕如と教如(下)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑤(藤丸智雄)
「夜空ノムコウ」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」①(安藤光慈)
「他力信心の法義」
- せいてん誌上演
「正信偈」⑪(梯實圓)
「善導大師④」阿彌陀仏に会う」
- もう1人の親鸞⑤
「幽霊の救い」(黒田義道)

122号(春の号) 2018年3月1日



表紙写真
●チベット仏教(1)

- はじめの一步I
親鸞聖人の人間像①(山田雅教)
「妻がつづった親鸞聖人の素顔」
- はじめの一步II
現代人と宗教①(福永俊哉)
「宗教と学問」
- 聖典セミナー
「御文章」①(高田文英)
「聖人一流章」
- せいてん誌上演
「正信偈」①(梯實圓)
「ご恩に報いるために」
- サンカしよう
「讃仏偈」①(若林眞人・山口篤子)

102号(春の号) 2013年3月1日

127号(夏)(号)2018年6月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑥(井上見淳)
「善信房親鸞(一)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑩(藤丸智雄)
「いつの間にかの倫理」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑥(安藤光慈)
「誰もえらび捨てない救い」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「法然聖人(3) 回心の内景」
- ほとけのいる景色②
「千年の闇室」(打本和音)



表紙 ●特集「みかえる 平成の國語-新発見」より



表紙 ●特集「お盆、その前に」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝②(井上見淳)
「弁円」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑥(藤丸智雄)
「欲望は悪か」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」②(安藤光慈)
「名号の撰化」
- せいてん誌上講演
「正信偈」②(梯實圓)
「源信和尚(1) 日本浄土教の黎明」
- もう1人の親鸞⑥
「枕石の物語」(黒田義道)

123号(夏)(号)2018年6月1日

128号(秋)(号)2018年9月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑦(井上見淳)
「善信房親鸞(二)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑪(藤丸智雄)
「不安と倫理」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑦(安藤光慈)
「救われるのは誰か」
- せいてん誌上講演
「正信偈」⑦(梯實圓)
「法然聖人(4) 善悪を超えた世界」
- ほとけのいる景色③
「石窟の条件」(打本和音)



表紙 ●特集「詳しく学ぶ 二河白蓮のたえ」より



表紙 ●特集「(名人)たちの聖典」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝③(井上見淳)
「金子大策(上)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑦(藤丸智雄)
「信仰という幸福について」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」③(安藤光慈)
「(自)であらわされる他力」
- せいてん誌上講演
「正信偈」③(梯實圓)
「源信和尚(2) 仏さまに背きながら」
- もう1人の親鸞⑦
「一切経校合」(黒田義道)

124号(秋)(号)2018年9月1日

129号(冬)(号)2018年12月1日

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝⑧(井上見淳)
「善信房親鸞(三)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑫(藤丸智雄)
「(生きがい)から考える善悪」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」⑧(安藤光慈)
「さどりの性質—二種法身」
- せいてん誌上講演
「正信偈」(終)(梯實圓)
「法然聖人(5) 深く信する心」
- ほとけのいる景色④
「日本人の見たアジャッター①」(打本和音)



表紙 ●特集「『歎異抄』と私」より



表紙 ●特集「(空)がわからない」より

- はじめの一步I
真宗(悪人)伝④(井上見淳)
「金子大策(中)」
- はじめの一步II
幸せてなんだろう⑧(藤丸智雄)
「最大多数の最大幸福(1)」
- 聖典セミナー
「唯信鈔文意」④(安藤光慈)
「(今)の救い」
- せいてん誌上講演
「正信偈」④(梯實圓)
「法然聖人(1) 父の遺言を胸に」
- もう1人の親鸞(終)
「親鸞聖人ご臨終の言葉」(黒田義道)

125号(冬)(号)2018年12月1日

●これまでの主な特集記事●

- No. 100…… 100号記念 勸学和上に聞く
①聖教の真実性と布教伝道について 梯實圓
②聖典編纂事業と『季刊せいいてん』
徳永一道・内藤知康・佐々木恵精
- No. 101…… ヴィジュアル大乗仏教～北伝仏教の旅～
- No. 102…… 飛雲閣と聚楽第一聚楽第の遺構か否か
- No. 121…… 自死と念仏者
- No. 122…… わが家で解決 セルフ質問箱のすすめ
- No. 123…… お盆、その前に

*『季刊せいいてん』誌のバックナンバーは部数に限りがございますので、品切れの場合はご容赦願います。

お申し込み・お問い合わせは
本願寺出版社

☎ 0120-464-583
FAX 075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
1冊 700円(税・送料込)
商品に払込取扱票を同梱しますので、郵便局もしくは
コンビニエンスストアで料金を払い込みください。

連載 クローズアップ

《せいいてん誌上講演》「正信偈」

102号～129号

梯 實圓

本願寺の碩学、故・梯實圓和上に
よる「正信偈」の講演録です。
親鸞聖人のみ教えの結晶ともいえる
「正信偈」をやさしくご講演いただき
ています。梯和上の聲咳に接している
ような臨場感にぜひふれてください。



季刊せいてん 定期購読のご案内

*本誌を毎号入手していただくために定期購読をお勧めします。

●年間購読料 2,800円 (税・送料込み)

▲年4回 (3・6・9・12の各月) 発行

*1部からでもお求めになれます。

●1部 700円 (税・送料込み)

※同じ号を一括して多部数お申し込みいただいた場合には、部数割引させていただきます。(10部以上10%・50部以上20%)

お申し込みは↓

本願寺出版社  0120-464-583 FAX 075-341-7753
よむよ ごわさん

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル <http://hongwanji-shuppan.com/>

編 集 後 記

◆コロナウイルス感染拡大のため、直接面会しての取材ができなくなりました。今回の「念仏者はいま」では、当初、中垣昌美先生への取材を予定していましたが、急遽、2月に総合研究所の主催で行われた講演会を掲載することになりました。直接中垣先生とお会いできないことに大変なもどかしさを感じましたが、ご高齢の中垣先生の間にご子息が入ってくださり、親子で原稿のチェックをしてくださいました。今回の経験を通して、人と人がつながることの大切さ、有り難さをあらためて痛感しました。(S)

◆本号より、編集に参加させていただくことになりました。本誌の最大の魅力は、聖典と日常生活の架け橋となることにあると考えます。聖典の内容を学ぶ中で起こってくる様々な疑問を

解決するヒントや、普段の生活の中で私自身の歩みについて考えるきっかけとなるような記事を、編集者として、また一読者の視点で作っていきたいと思います。ご一緒に仏さまの大いなる慈悲のお心を学ばせていただきたいと思います。(R)

◆本誌の編集も最終段階に入っています。このような大変な状況ですと、多くの皆様に支えられて本誌がある、との思いを強くします。あらためて関係者の皆様に感謝申し上げます。

◆「ステイホーム」で、にわかには読書へ注目が集まりました。「積ん読」の本を読まれた方もあったかもしれません。実は、私もその一人です。

特集「私の名著2」は、本との出会いは人生を豊かにする、と教えてくれます。私も続けて読書に励みます。(D)

投稿募集

◆本誌に対するご感想やご意見、聖典講座についてのご質問など、ふるってご投稿ください。皆様からのお便りをお待ちしております。

◆あて先は、「〒600-8501 浄土真宗本願寺派総合研究所 季刊せいてん編集室」とご明記ください。

◆お送りいただきました原稿はお返しできません。◆掲載分には記念品をお送りいたします。

季刊せいてん

NO.131 令和2(2020)年6月1日発行

編 集

浄土真宗本願寺派

総合研究所

〒600-8349

京都市下京区堺町92番地

発 行

本願寺出版社

(浄土真宗本願寺派)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

本願寺門前町60番地

電話 075-371-4171